



令和2年度 入遠野小学校学校経営方針について

(裏面「経営・運営ビジョン」参照)

新型コロナウイルス感染防止措置として、4月13日の授業参観・PTA総会を中止いたしました。本来でしたら、その場で保護者の皆様に学校経営の方針並びに具体的実践事項をご説明するところでしたが、本年度は本紙をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

本校の教育目標
「おお柳(本校のシンボル)のように強靱で柔軟な心身ともにたくましい子ども」
○自ら考える子ども ○思いやりのある子ども ○たくましい子ども



子どもの安全・安心の確保(人権・環境・事故防止)

子ども一人ひとりに寄り添った指導を通して

【教育目標具現化のための具体的実践事項】

(自ら考える子ども「確かな学力」)



- 学びの基盤づくりの徹底(学習の準備、姿勢、話し方・聞き方の定着)
 - 目指すべきモデル等を提示するなどして、発達段階に応じた学習基盤を身につけさせる。
- 基礎的・基本的学習内容の定着(読み、書き、計算、ICT)
 - 子どものつまずきに応じた指導、繰り返し指導を計画的に実施する。また、見とりを丁寧に行い、家庭学習のさらなる充実を図る。
- 算数科を中心として、学習意欲を高め、表現する力を高める授業の推進
 - 教師同士で授業を見合う時間を確保し、指導力向上を図る。
- 読書活動を充実させ、言語に関する力を高める。
 - 朝の読書活動の充実、いりとおっ子デー(毎週水曜日)による家庭での読書習慣の確立、学校図書室の開放

(思いやりのある子ども「豊かな人間性」)

- 子どもが安心して生活できる学級経営(いじめの未然防止・早期対応の徹底)
 - いじめ調査・困りごと調べ、教育相談による実態把握とそれに基づいた早期指導
- 「特別の教科道徳」を核として全教育課程で心の教育を実践
 - 校内研修による道徳の授業の充実、学びの成果・考えの変容を家庭へ通知



(たくましい子ども「健康・安全・体力」)

- 体力・運動能力の向上
 - 学年ブロック・TTによる体育授業の実践を通して、ゲーム等の多様な運動に触れ、日常化につなげる。
- 歩ける場所から歩く徒歩通学の励行
- 昼休みの積極的な活用を通して外遊びを奨励